

桂坂

2013年11月5日[1305] 総176号

発行 桂坂学区自治連合会 山崎貴治

おめでとうございます

文化勲章受章

中西 進（さつき）

京都市自治記念日表彰

♦京都市美術館開館80周年記念特別表彰

中路 融人（かえで）

中西 進（さつき）

道端 進（さつき）

♦未来の京都まちづくり推進表彰

市民生活に「うるおい」をもたらす様々な分野の活動

細川 和明（さつき）

菌部 和栄（つばき）

桂坂くすのき自治会

「歩くまち・京都」や個性豊かで魅力的な「まちづくり」の実現を目指す活動

桑原 尚史（にれのき）

服部 真貴子（しらかば）

京都市消防団表彰

♦優良消防団員優良表彰

AEDの普及活動

西村 明（あかしあ）

ここにご紹介した方々は編集部で把握している方々です。紹介漏れの場合はお許しください。
敬称は略させていただきました。

桂坂学区民体育祭の御礼

秋更けゆくままに桂坂や西山の景色も美しくなりつつある季節でございます。

桂坂の皆様方におかれましては、ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

さて過日10月13日（日）桂坂体育振興会創立25周年記念「第23回桂坂学区民体育祭」はスポーツ日和の大変好いお天気に恵まれ、京都成章高等学校吹奏楽部による入場行進に始まり、各自治会が良く考えて頂いたPRや、素晴らしい子どもたちの選手宣誓で幕があき、皆様方のご参加やご協力をもち歓声が途切れることなく盛大に終了する事が出来ました事、本当に有難うございました。

お蔭様で子どもたちからお父さん・お母さんそしておじいちゃん・おばあちゃんまで多くの世代の方々が一同に集まり家族の絆を確信され、又、ご近所の皆様方と共に汗をながされ、共に楽しく過ごされコミュニケーションの充実を更に深められたことと思います。私達役員一同、皆様方のあの素敵なお笑顔を拝見し安堵いたしております。

これからも体育振興会はスポーツを通じ地域の皆様の健康増進や親睦づくりを目指し、そして元気な桂坂がいつまでも継続できるよう事業を進めて参ります。今後共ご参加ご協力をお願い致します。

最後になりましたが、この体育祭の原動力であります貴重な協賛金及び助成金、又、御祝金を頂戴致しました皆様方に厚く御礼を申し上げますと共に、選手集めをして頂きました各自治会の体育委員様、そしてお手伝い頂きました自治連合会を中心とした各自治会及び各種団体の皆様方に、この紙面をお借りしまして御礼申し上げます。

有難うございました。

桂坂体育振興会会长 布本和久

役員一同

ひいらぎ自治会 総合優勝！

チームワークの良さが勝因

準優勝にれのき

3位	あかしあ	9位	はなみずき
4位	つばき	10位	もくれん
5位	もみのき	11位	ぽぶら
6位	くすのき	12位	しらかば
7位	けやき	13位	さつき
8位	さくら	14位	かえで

防災訓練の報告

10月6日（日）桂坂小学校体育館において、「避難所開設運営訓練」が、10月27日（日）には桂坂小学校グラウンドにおいて「桂坂学区総合防災訓練」が行われました。

「避難所開設運営訓練」

体育館には4か所にブルーシートが敷かれ、居住スペースが作られていました。そこに自治会ごとに着席し、避難所開設についてや運営時に注意すべきことの説明を受けました。特に重要なことは次の三点です。

★みんなが活動しやすい場所に

先ず、通路。導線を確保し、高齢者や障がい者などは通路側でトイレに近いところ。

★プライバシーを配慮して

男女更衣室は重要。授乳室の確保。

★みんなに情報が行き届くように

掲示板を必ず設置。

声だけでなく文字による情報提供。

訓練の初めは自治会ごとの名簿作成でした。どの様な状態の方が来られているのか、年齢や性別等必要事項を書いていきます。それらの情報をもとに運営していくからです。その後、総務班、情報広報班、物資管理班、衛生班、救護・要配慮者班などに分かれ、課題に沿っての訓練でした。与えられた情報を紙に書き掲示、また、段ボール箱を使って簡易トイレを作成、新聞紙でスリッパ作り、紙を折りビニール袋を中心に入れてコップを作り飲み物の配布などをしました。

今、桂坂自主防災会では「桂坂小学校避難所開設マニュアル」を作成中です。

「桂坂学区総合防災訓練」

午前8時30分地震発生を想定し、自主防災部ごとに地域の指定された場所に集結、その後小学校グラウンドに避難。避難人員の報告後、訓練内容の説明を西京消防署高田消防司令補から受け訓練を開始しました。

「被害状況収集訓練」は用意された住宅地図に火災や家屋の下敷きになっているなどの被災状況を書き込み、その数を把握することでした。また、下敷きになつてい

る人を助けるにはどうすれば良いのかを話し合い、抽選で一つの自主防災部が代表して、リヤカーに積んできた「救出七つ道具」を使って「救出訓練」を行いました。

自主防災会本部から消防分団消火要請訓練、区対策本部へ学区全体被害状況の報告訓練の後、桂坂消防分団の小型動力ポン



プによる消火訓練が行われました。小学校のプールの水を素早く汲みあげ放水して消火する訓練を目の当たりにし、消防分団の皆さんのかびきびした動作に頬もししさを感じました。

今回、かえで自主防災部では「小学校までの道路が寸断され、避難が困難である」との想定で、かえで地区で訓練が同時進行されました。避難人員報告は携帯電話で自主防災会本部に報告されました。実際にはどのような事態が起こるかもしれません。また、身体の不自由な方や高齢者の方、小さいお子さんをお持ちの方など離れた場所への避難が難しい方々もおられるでしょう。今後は様々な場合を考慮しての訓練も必要になってくるのではないかでしょうか。

この日の訓練参加人数はかえで自治会82名を含め、総勢約410人にのぼりました。訓練後の講評で西京消防署西田予防課長は、桂坂の防災意識の高さに感心しておられました。防災には「顔の見える良好な関係で地域の輪を広げることが大切だ」とも話されていました。

グラウンドでの訓練と並行して、給食給水部長の指示の下、各防災部の給食給水班員、地域女性会や小学校PTA、山の手俱楽部幹事の皆さんのが「給食訓練」として、豚汁の炊き出しをされました。すべての訓練終了後、参加者全員で美味しいいただきました。



地域の子どもたちのために

桂坂教育後援会は毎年、桂坂小学校、大枝中学校、西総合支援学校の児童生徒の教育環境の整備充実のために、それぞれの学校が必要とされているものを寄贈しています。

10月7日（月）桂坂小学校で「図書」、10月26日（土）西総合支援学校で「iPad」の贈呈式が行われました。

洛西担当区長との懇談会

10月29日（火）洛西担当区長との懇談会が行われ、桂坂学区から出された三点の要望について、次のような回答がありましたので報告します。（要旨）

① 通行車両のスピード対策

大枝北沓掛町3丁目「西桂坂」交差点付近、亀岡側国道9号線より上がってき、桂坂内に入ってくる車両の通行速度が速く、危険な状態である。本交差点は国道9号線からくると上り坂となっているうえに、見通しの悪いカーブとなっており、同9号線より上がってきる車両は加速をつけて減速せずに交差点に流入するため、ヒヤリとすることが多い。横断歩道も設置されているが、横断者は相当注意して渡る必要がある。

ついては、ここを通過してくる車両が速度を出しにくくするような安全対策の措置を取っていただくよう要望する。

答 要望の箇所については、交差点手前において、通行車両の徐行をさらに促す必要があると認識しており、「交差点あり」等の警戒標識や、減速マーク（破線：ドットマーク）の路面表示の設置を検討したい。

（西京土木事務所）

要望の交差点は、現場調査の結果、横断歩道や停止線が経年劣化等により、不明瞭となっている箇所が認められたところから、塗替えと、一時停止箇所の「止まれ」文字の新設をすべく上申をした。

さらに、通行車両への速度抑制を行うべく、同道路の指定最高速度「40km/h」の標識の増設と道路上への「40」文字を数箇所入れるべく上申を早急に実施する。

（西京警察署）

② 街灯の設置

御陵大枝山5丁目19-3南側付近、要望箇所のT路交差点は、南北の通りの南は桂坂センター前バス停、イズミヤ桂坂店、郵便局、医院、そろばん塾等に通じており、北は桂坂小学校、大枝中学校に通じ、生徒の通学路となっており、非常に利用者の多い通路である。東西の通りは石畳の通りで、南北とT交差して西に17mのところに街灯が設置されているものの、街路樹で若干暗く感じ、T交差点までは明かりが届かない状況にある。過去に、自転車で夕暮れ時に帰宅中の中学生が、U字車止めに接触して転

倒負傷する事故も発生しており、さらには夜間に変質者が出没していたとの情報もあり、明かりの届かない同T路地南北の通りに治安維持上からも街灯の設置を要望する。

答 本市では要望を受けて、既存の電柱等に共架して市街灯の新設を行っているが、要望の箇所には共架できる電柱がない。また、西側約17mの市街灯だけではなく、他に北側約20m及び南側約30mにも市街灯が設置されており、照度が確保されていると考えているので、市街灯を増設するのではなく、北側及び南側の市街灯の器具を20Wから32Wに交換することを検討する。10月26日ケヤキ2本は剪定した。
（西京土木事務所、緑政課）

③ 道路の交通安全対策

御陵峰ヶ堂町2丁目19-5、今年7月末明、御陵坂から上がっててきた車両が運転操作を誤って、歩道を乗り越えて設置要望をされている家の玄関入口に激突、玄関先を破損する事故があった。同場所は昨年夏にもオートバイが運転操作を誤り、歩道壁に接触転倒する人身事故が発生している。御陵坂のS字カーブを上がって左折した付近で、すぐに15度ぐらいの坂になっており、アクセルを踏むため急発進する場所でもある。同場所の車道と歩道は歩道壁で区別されているが、歩道壁が低く錯覚を起こし、夜間であれば車道と歩道の区別が咄嗟に判断しにくく、接触する事故が多発しているものと推察される。

ついては、夜間時に注意喚起できるような、安全対策を講じていただけるよう要望する。なお、同場所は桂坂小学校の通学路になっており、多数の小学生が通行しており、近くには東桂坂保育園があり、園児が散歩道として日頃多数利用している場所もある。

答 要望の内容について、事故原因が車両の運転操作ミスであるものの、歩行者などの安全確保のために、構造的な安全対策を検討している。

具体的には、当該交差点に夜間でも目立ちやすい車両用防護柵〈ガードパイプ〉の設置を検討する。

（西京土木事務所）

西京区民ふれあいまつり

日 時：11月16日（土） 10時～15時（雨天決行）
会 場：京都市西文化会館ウエスティ

